

令和4年度 政策研究成果発表会

彩の国さいたま人づくり広域連合では、公募で集まった研究員（埼玉県や市町村の職員、民間企業等の社員）が令和4年5月から「ナッジ理論を活用した政策づくり」をテーマとして「産民学官・政策課題共同研究」を行っています。この度、研究成果がまとまりましたので、以下のとおり研究成果発表会を開催いたします。併せて、研究テーマに関連する有識者の基調講演も実施します。皆様の御参加を心よりお待ちしております。

日時

令和5年1月27日(金)
13:30~16:30

プログラム

- ▶ 13:35 - 14:35 基調講演
- ▶ 14:40 - 16:05 共同研究の成果発表

基調講演

社会課題の解決につながるナッジ

講演講師



ささき しゅうさく
佐々木 周作 氏

大阪大学
感染症総合教育研究拠点・特任准教授

【略歴】

1984年、大阪府交野市生まれ。京都大学経済学部を卒業後、三菱東京UFJ銀行（現・三菱UFJ銀行）に入行。退職後、大阪大学大学院経済学研究科博士後期課程にて、博士号（経済学）を取得。日本学術振興会特別研究員DC1及びPD・京都大学大学院経済学研究科特定講師・東北学院大学経済学部准教授を経て、現職。専門は、応用ミクロ計量経済学・行動経済学・実験経済学。行動経済学会の理事とともに、環境省・経済産業省・横浜市などの中央府省庁や地方自治体で有識者委員やアドバイザーを務める。

共同研究の
成果発表

ナッジ理論を活用した政策づくり

ナッジ理論は、人の普遍的な行動特性を対象とするため、人が介在するあらゆる政策分野に適用可能で、様々な課題の解決に効果的なツールになると考えられます。

本研究では4つの分野の社会課題（健康、教育、フードロス、DX）について、ナッジ理論を活用した具体的な事業提案を行います。

令和4年度 共同研究コーディネーター



たかはし つねお
高橋 恒夫 氏

地域活性コンサルタント
REGIONAT主宰

ナッジとは? 「nudge」は英語で「軽くひじ先でつつく、背中を押す」こと。お店のレジ前の床に足跡を見たことありませんか？思わずその上に並んでしまうことで、結果として、列が乱れず並べるようになっていく…。そう、これもナッジです！

- 対象 県・市町村等の職員、企業、NPO、大学関係の方をはじめ、御関心のある方 **どなたでも!**
- 定員 各対象合計200名（先着順）※ 定員を超えた場合のみ連絡します。
- 申込期限 令和5年1月20日（金）定員になり次第締め切り。
- 申込方法 彩の国さいたま人づくり広域連合のホームページ又は右の二次元コードからお申し込みください。
<http://www.hitozukuri.or.jp/research/>
- お問合せ 彩の国さいたま人づくり広域連合 企画・政策研究担当
TEL : 048-664-6685

申込フォーム



政策研究成果発表会 オンライン参加に当たって

- 本発表会はZoomを使用します。各自事前の環境設定をお願いします。
- 申込受付完了メールに、必要な参加URLを記載し、ご案内いたします。
- 参加URLは再配布禁止です。
- お申込みの際に取得した個人情報を受講管理のみに使用し、他の目的には使用しません。
- **映像の録音、録画、画面キャプチャー(スクリーンショット)は禁止です。またSNSなどへのアップも禁止します。**
- 主催者側ではオンライン映像のキャプチャー(スクリーンショット)写真を当広域連合のホームページやSNS等で掲載いたしますので、ご了承ください。
- 共同研究の成果発表の終了後に、発表内容に関する質疑の時間を設けます。

オンライン参加手順

